

令和2年度

大学院薬学研究科
薬学専攻

博士課程

学生募集要項

昭和薬科大学

〒194-8543 東京都町田市東玉川学園3-3165
教務課 大学院係： TEL 042-721-1518 (直通)
FAX 042-721-1588

令和2年度 大学院薬学研究科（博士課程）学生募集要項 アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

本学大学院薬学研究科は、「薬を通して人類に貢献」を理念とし、薬学専攻博士課程においては、高度な総合的薬学専門知識を身に付け、先端薬学の基礎及び応用研究を通じて、自らが意欲的かつ創造性豊かに研究を遂行し、国際的なレベルで医療薬学の発展に寄与できる人材の育成を教育目標としています。

薬学部のみならず広く科学を学んだ方や社会人あるいは留学生に対して多様な選抜方法を取り入れて、国内外から幅広く人材を募集します。

- ①基礎薬学並びに臨床薬学領域において真理探究への情熱と忍耐力を有する者
- ②知的好奇心に富み、幅広い知識の習得に積極的に取り組む柔軟な姿勢を有する者
- ③国際的な視野に立ち、自ら学び、研究能力を高める熱意を有する者
- ④高い倫理観を有し、研究能力を高めるための自己研鑽を継続する意志を有する者
- ⑤社会に貢献しようとする意志を持つ者

1 募集人員

専攻名 薬学専攻 募集人員 3名

2 出願資格

博士課程（標準修業年限4年）に出願できるのは、次の各号のいずれかに該当する者である。

- (1) 大学の薬学（修業年限が6年であるものに限る）、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者（令和2年3月までに卒業見込みの者を含む。）
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者（令和2年3月までに修了見込みの者を含む。）
- (3) 修士課程、博士課程（前期2年の課程）又は専門職学位課程を修了した者（令和2年3月までに卒業見込みの者を含む。）
- (4) 本大学院が、個別の入学資格審査により、大学の薬学（修業年限が6年であるものに限る）医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者、若しくは修士課程、博士課程（前期2年の課程）又は専門職学位課程を修了した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに24歳に達する者

※推薦入学試験については、本大学院への入学を強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者

(留意事項)

出願資格の(1)及び(4)の「大学」とは、学校教育法第83条及び第87条の2の定める日本国内の大学を指す。

出願資格(3)の「修士課程、博士課程(前期2年の課程)又は専門職学位課程」とは、日本国内の大学院の修士課程、博士課程(前期2年の課程)又は専門職学位課程を示す。

3 出願手続

(1) 出願期間

推薦入学試験(1期) 令和元年6月24日(月)から7月5日(金)まで(必着)

一般入学試験(1期) 令和元年8月26日(月)から9月6日(金)まで(必着)

推薦入学試験(2期) 令和2年2月3日(月)から2月14日(金)まで(必着)

(社会人推薦のみ)

一般入学試験(2期) 令和2年2月3日(月)から2月14日(金)まで(必着)

受付時間：月曜～金曜 午前9時～午後4時

土曜 午前9時～正午

(2) 事前面談

出願を希望する者は、出願前に必ず志望する分野の研究指導教員と面談し、相談すること。

(注) 連絡先については、5ページの「分野別研究指導教員連絡先」を参照のこと。

なお、教員との連絡がつかないときは、教務課(3の(4)出願先参照)まで連絡のこと。

(3) 出願方法

出願を希望する者は、以下の書類に入学検定料を添えて、出願期間内に提出すること。

書類を郵送の場合は、必ず「書留速達」で郵送すること。

入学検定料は、現金書留にて別途郵送すること。

(注) 出願期間を過ぎた場合は受理しない。郵送にて出願手続を行う場合は、郵送期間を十分考慮の上郵送のこと。

(4) 出願先（郵送先）

〒 194-8543 東京都町田市東玉川学園 3 丁目 3165 番地

昭和薬科大学事務局 教務課 大学院係

電話 (042) 721 - 1518 (直通)

(5) 出願書類及び入学検定料

| 出願書類 | 摘要 |
|--------------------------|---|
| 1. 入学願書 | 本学所定の用紙（写真を貼ること） |
| 2. 調査書 | 本学所定の用紙 出身大学の長（学長、学部長等）が作成の上、厳封したもの。 大学院修士課程修了（見込）者は、出身大学の成績証明書の他に修士課程における成績証明書をあわせて提出すること。 |
| 3. 卒業（見込）又は 修了（見込）証明書 | 出身大学の長（学長、学部長等）が作成の上、厳封したもの。 |
| 4. 受験承諾書 | 本学所定の用紙 官公庁その他民間会社等に在職中の者は、所属長の受験承諾書を提出すること。なお、本大学院への入学に際し退職する場合は提出の必要はない。 |
| 5. 志願理由書 | 本学所定の用紙（400 字以内、横書）、推薦入学試験の場合に提出すること。 |
| 6. 推薦書 | 本学所定の用紙、推薦入学試験の場合に提出すること。 大学等に在学中の指導教員等が作成したもの。 なお、官公庁その他民間会社等に在職中の者は、指導教員等の推薦書に代えて、所属長の推薦書を提出することができる。 |
| 7. 修士学位論文の要旨 | 大学院修士課程修了（見込）者は提出すること（A 4 用紙 2 ページ以内）。 なお、官公庁その他民間会社等に在職中の者は、修士学位論文の要旨に代えて、研究経過報告書又は業務研究経過説明書（A4 用紙 4 ページ以内）を提出することができる。 |

| | |
|-------------|---|
| 8. 受験票返送用封筒 | 郵便にて出願を行う者は、郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手 362 円（速達）を貼付した封筒を同封すること。 |
| 9. その他 | 受験票に貼付する写真（縦 5 cm × 横 4 cm、裏面に氏名記入）は、上半身、脱帽正面向きで、3 ヶ月以内に撮影したもの。入学資格審査の判定により出願資格を有すると認定された者は、入学資格認定書のコピーを同封すること。 |
| 10. 入学検定料 | 35,000 円 |

(6) 出願資格の認定

出願資格に定める（4）に該当する場合は、出願に先立ち、入学資格審査を申請すること。審査の結果、資格を認定された場合に出願が認められる。

その結果について出願のこと。

ア. 入学資格審査申請受付期間

一般（1次）令和元年 6 月 10 日～ 6 月 28 日

一般（2次）令和 2 年 1 月 20 日～ 2 月 7 日

イ. 入学資格審査申請を希望する者は、事前に昭和薬科大学教務課大学院係へ問い合わせること。

(7) 出願上の注意事項

ア. 提出書類の不足、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理できないので、出願の際に十分確認すること。

なお、出願書類受理後、入学志願票等の記入に瑕疵が判明した場合は、「受験資格の無い者」として取り扱うことがある。

イ. 出願書類受理後には、記載事項の変更は認めない。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には速やかに教務課まで連絡すること。

ウ. 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には入学許可を取り消すことがある。

エ. 出願書類及び既納の入学検定料は返還しない。

オ. 入学試験の専門科目および専門英語は出願時に選択すること。受験時の変更は認めない。

◆分野別研究指導教員連絡先

大学院薬学研究科薬学専攻博士課程の分野と研究指導教員

| 分野 | 研究指導教員 | 所属研究室等 | 電話（内線） |
|--------------|----------|----------------------|---------|
| | | 042 - 721 - 1511（代表） | |
| メディシナルケミストリー | 教授 伊藤 俊将 | 医薬分子化学 | 内線 2530 |
| 医薬品有機化学 | 教授 田村 修 | 薬化学 | 内線 2520 |
| | 教授 岡本 巖 | 薬品化学 | 内線 2420 |
| 医薬品物性学 | 教授 秋澤 宏行 | 薬品物理化学 | 内線 2400 |
| | 教授 唐澤 悟 | 薬品分析化学 | 内線 2210 |
| 環境健康科学 | 教授 石井 功 | 衛生化学 | 内線 2330 |
| 分子細胞生物学 | 教授 伊東 進 | 生化学 | 内線 2301 |
| | 教授 金本 大成 | 微生物学 | 内線 2200 |
| 漢方・医薬資源学 | 教授 高野 昭人 | 薬用植物資源 | 内線 2515 |
| | 教授 久保田高明 | 天然物化学 | 内線 2500 |
| 病態解析・薬物治療学 | 教授 水谷 顕洋 | 薬物治療学 | 内線 2130 |
| | 教授 宇都宮 郁 | 統合薬学教育 | 内線 1503 |
| 薬理・医薬品安全性学 | 教授 渡邊 泰男 | 薬理学 | 内線 2120 |
| 薬剤・薬物動態学 | 教授 山崎 浩史 | 薬物動態学 | 内線 2230 |
| | 教授 宇都口直樹 | 薬剤学 | 内線 2220 |
| 医薬情報解析・ | | | |
| 医薬品評価学 | 教授 瀨本 知之 | 応用薬物治療部門 | 内線 2310 |
| | 教授 渡部 一宏 | 実践薬学部門 | 内線 1440 |
| | 教授 宮崎 生子 | 社会薬学 | 内線 2418 |

（注）各分野の教育及び研究内容については、別表1「令和元年度 薬学専攻博士課程の授業科目と担当教員」及び別表2「令和2年度薬学専攻博士課程 分野別研究テーマ」を参照のこと。

4 外国人留学生の取扱い（若干名）

(1) 出願資格

- ア. 外国において学校教育における 18 年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学又は獣医学の課程）を修了した者、又は令和 2 年 3 月までに修了見込みの者
- イ. 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本大学院が、当該研究の成果等により、大学の薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ウ. 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本大学院が、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(2) 出願書類

国外からの出願者は、日本国内在住の身元保証人をとおして書類を提出すること。
なお、出願資格のイ、ウで出願する者は、事前に出願資格の認定が必要となるので、3 の (6) に定める申請をすること。

| 出願書類 | 摘要 |
|--------------------------|---|
| 1. 入学願書 | 本学所定の用紙（写真を貼ること） |
| 2. 成績証明書 | 出身大学の長（学長、学部長等）が作成の上、厳封したもの。 大学院修士課程修了（見込）者は、出身大学の成績証明書の他に修士課程における成績証明書をあわせて提出すること。 |
| 3. 卒業（見込）又は 修了（見込）証明書 | 出身大学の長（学長、学部長等）が作成の上、厳封したもの。 |
| 4. 推薦書 | 本学所定の用紙、推薦入学試験の場合に提出すること。 大学等に在学中の指導教員等が作成したもの。 なお、官公庁その他民間会社等に在職中の者は、指導教員等の推薦書に代えて、所属長の推薦書を提出することができる。 |
| 5. 外国人登録原票 記載事項証明書 | 現に日本に在留している外国人で入学を志願する者（在留期間が 90 日を超える者）は、市区町村長が発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出すること。 |
| 6. パスポートの写し | 国外からの出願者は、パスポートの写しを提出すること。 |
| 7. 受験票返送用封筒 | 郵便にて出願を行う者は、郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手 362 円（速達）を貼付した封筒を同封すること。 |

8. その他 受験票に貼付する写真（縦5 cm ×横4 cm、裏面に氏名記入）は、上半身、脱帽正面向きで、3ヶ月以内に撮影したもの。入学資格審査の判定により出願資格を有すると認定された者は、入学資格認定書のコピーを同封すること。
9. 入学検定料 35,000 円
-

5 選考方法

学力試験（筆記試験）、面接試問並びに出願書類の記載事項を総合して判定する。

(1) 試験日程、試験科目及び試験場

1) 推薦入学試験

- ①昭和薬科大学卒業者（令和2年3月までに卒業見込みの者を含む）推薦
- ②昭和薬科大学以外の大学卒業者（令和2年3月までに卒業見込みの者を含む）推薦
- ③社会人推薦

大学卒業後、出願時において在職する（在職見込みを含む）官公庁その他民間会社等の所属長の受験承諾が得られる者。

試験日

- 1期 令和元年7月22日（月）
 2期 令和2年3月9日（月）（③社会人推薦のみ実施）

試験科目

学力試験（英語）、小論文及び面接試問

英 語：一般英語（必須）

専門英語（化学系英語、生物系英語、医療系英語から1分野を出願時に選択）

| 時間 | 9：30～11：00 | 11：15～12：45 | 13：30～ |
|----|------------|-------------|--------|
| | 英語 | 小論文 | 面接 |

試験場 本学

2) 一般入学試験

試験日

1 期 令和元年 9 月 20 日 (金)

2 期 令和 2 年 3 月 9 日 (月)

試験科目

学力試験 (英語と専門科目) 及び面接試験

英 語 : 一般英語 (必須)

専門英語 (化学系英語、生物系英語、医療系英語から 1 分野
を出願時に選択)

専門科目 : 有機反応化学、有機合成化学、医薬品化学、天然物化学、分
析化学、物理化学、衛生薬学、感染免疫学、生化学、薬理学、
薬物治療学、薬剤学、薬物動態学、臨床薬学 (医薬品情報学、
薬効解析学、医薬品安全性学)

上記 14 科目から 2 科目を出願時に選択する。

| | | | |
|----|------------------|-------------------|-----------|
| 時間 | 9 : 30 ~ 11 : 00 | 11 : 15 ~ 12 : 45 | 13 : 30 ~ |
| | 英語 | 専門科目 | 面接 |

試験場 本学

(2) 受験上の注意事項

ア. 試験に関する諸注意等を行うので、午前 9 時 15 分までに試験室の指定された席に着くこと。

イ. 試験開始後 20 分以上遅刻した者は、受験を認めない。

なお、交通事故その他やむを得ない事情で遅刻した者は、本学事務局教務課大学院係に申し出て指示を受けること。

ウ. 受験票を持参すること。なお、受験票を忘れた場合は、試験開始前に本学事務局教務課大学院係にその旨を申し出ること。

エ. 試験時の机上には、受験票、筆記用具以外のものは置かないこと。

オ. 携帯電話などは、試験室に入る前に電源を切っておくこと。

カ. 受験票は、入学手続きの際に必要となるので、試験終了後も保管しておくこと。

6 合格発表

(1) 発表日時

1) 推薦入学試験 (1 期)

令和元年 7 月 25 日 (木) 午後 1 時 (予定)

推薦入学試験 (2 期) (社会人推薦のみ)

令和 2 年 3 月 12 日 (木) 午後 1 時 (予定)

2) 一般入学試験 (1 期)

令和元年 9 月 26 日 (木) 午後 1 時 (予定)

一般入学試験 (2 期)

令和 2 年 3 月 12 日 (木) 午後 1 時 (予定)

(2) 発表方法

本学所定の掲示板 (本館 1 階ホール、事務室横の掲示板) に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続きに必要な書類を郵送する。

(注) 電話等による問い合わせには一切応じない。

7 入学手続

入学試験に合格した者は、下記の指定期日内に所定の納付金と提出書類を揃え、入学手続きをすること。

(1) 指定期日

令和 2 年 3 月 12 日 (木) から令和 2 年 3 月 19 日 (木) まで (期間内必着)

(2) 提出書類

合格通知書とともに送付した書類を読み、遺漏無く提出すること。

(3) 入学手続上の注意事項

ア. 入学手続期間内に手続を完了しなかった者については、入学を辞退したものと
して取り扱う。

イ. 必要な書類と入学金及び学生納付金が全てそろっていない場合には受理できないので、書類等の提出の際に十分確認すること。

ウ. 提出書類は返還しない。

エ. 入学手続後、令和2年3月31日正午までに入学辞退の申し出が無かった者については、令和2年4月1日以降在籍していたものとして入学金及び学生納付金は返却しない。

8 入学金及び学生納付金（令和2年度）

入学金及び学生納付金明細表

（単位：円）

| 学 年 | 第1年次 | | 第2～4年次 | |
|-----|---------|-------|--------|-------|
| | 納入期 | 納入期 | 納入期 | 納入期 |
| 科目 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| | (入学期) | (10月) | (4月) | (10月) |
| 入学金 | 300,000 | | | |

| 学 年 | 第1年次 | | 第2～4年次 | |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|
| | 納入期 | 納入期 | 納入期 | 納入期 |
| 科目 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| | (入学期) | (10月) | (4月) | (10月) |
| 授業料 | 250,000 | 250,000 | 250,000 | 250,000 |
| 学生納付金 計 | 250,000 | 250,000 | 250,000 | 250,000 |
| 学生教育研究災害傷害保険料 | 3,370 | | | |
| 学生教育研究付帯賠償責任保険料 | 1,360 | | | |
| 厚生福社会費 | 30,000 | | 30,000 | |
| 委託徴収費 計 | 34,730 | 0 | 30,000 | 0 |
| 合計 | 284,730 | 250,000 | 280,000 | 250,000 |

本学薬学部卒業者及び大学院修士課程修了者には入学金を免除する。

9 その他

(1) ティーチング・アシスタント (TA) 制度

選考によりティーチング・アシスタントとして採用された場合は、手当を受けることができる。

(2) 奨学制度

日本学生支援機構奨学金制度、昭和薬科大学柴田奨学基金制度に応募することができる。

(3) 個人情報の取扱いについて

- 1) 本学大学院入学者選抜の過程で収集した個人情報は、入学者選抜の実施、入学手続、入学後の修学指導並びに学生支援関係業務（奨学・厚生補導、学内行事の案内送付、学生の履修登録用務等）及び入学試験に関する調査・研究を行うために利用し、これらの目的以外には利用しません。
- 2) 本学大学院入学者選抜の過程で収集した個人情報は、本学が厳密に管理し取り扱い、本人の承諾なく、第三者（本学教職員以外）に開示・提供は行いません。
- 3) 本学大学院薬学研究科に出願した方は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

令和元年度 大学院薬学研究科薬学専攻博士課程 授業科目と担当教員 (別表1)

| | 授業科目 | 担当教員 (○印は科目責任者) |
|------------|-------------------------------|--|
| 総合 必修科目 | 先端薬学 (生命科学と疾患) | ○教授 唐澤 悟 教授 久保田高明 教授 山崎浩史 教授 秋澤宏行 教授 高野昭人 教授 吉永真理 教授 石井 功 教授 田村 修 教授 渡部一宏 教授 伊東 進 教授 瀨本知之 教授 渡邊泰男 教授 宇都口直樹 教授 水谷顕洋 教授 伊藤俊将 |
| | キャリアパス | ○研究科長 水谷顕洋 准教授 原 梓 非常勤講師 高見正道 |
| | 医療薬学ゼミナール 1 | ○所属研究室大学院指導教員 |
| | 医療薬学ゼミナール 2 | ○所属研究室大学院指導教員 |
| | 医療薬学ゼミナール 3 | ○所属研究室大学院指導教員 |
| 専門 選択科目 | メディシナルケミストリー・ 生物有機化学特論及び演習 | ○教授 田村 修 教授 岡本 巖 教授 伊藤俊将 |
| | 医薬品・生体分子分析学特論及 び演習 | ○教授 秋澤宏行 教授 唐澤 悟 |
| | 漢方・医薬資源学特論及び演習 | ○教授 久保田高明 教授 高野昭人 准教授 中根孝久 |
| | 病態解析・薬物治療学特論及び 演習 | ○教授 水谷顕洋 教授 宇都宮 郁 |
| | 薬剤・薬物動態学特論及び演習 | ○教授 山崎浩史 教授 宇都口直樹 |
| | 臨床薬学特論及び演習 | ○教授 瀨本知之 教授 渡部一宏 |
| | 薬理・医薬品安全性学特論及び 演習 | ○教授 渡邊泰男 講師 土屋幸弘 |
| | 分子細胞生物学特論及び演習 | ○教授 伊東 進 教授 金本大成 講師 坂田宣夫 |
| | 環境健康科学特論及び演習 | ○教授 石井 功 講師 赤星軌征 講師 阿南弥寿美 |
| | 応用腫瘍治療学特論及び演習 | ○教授 瀨本知之 講師 廣澤伊織 |
| | 感染症制御学特論及び演習 | ○教授 増田 豊 教授 長南謙一 |
| | 地域医療学特論及び演習 | 教授 宮崎美子 ○准教授 高田公彦 |

令和2年度 大学院薬学研究科薬学専攻博士課程 分野別研究テーマ (別表2)

| 分野 | 研究指導教員 | 研究テーマ |
|--------------|----------|---|
| メディシナルケミストリー | 教授 伊藤俊将 | ①核内受容体リガンドの開発研究 ②構造生物学的研究によるリガンドとタンパク質の相互作用解析 ③酵素阻害剤の開発研究 ④タンパク質をコバレント修飾する化合物の開発 |
| 医薬品有機化学 | 教授 田村 修 | ①新規付加環化反応の開発 ②新規触媒反応の開発 ③生理活性含窒素化合物の合成法の開発 |
| | 教授 岡本 巖 | ①環境応答による動的機能制御を指向した新規芳香族アミドの創製 ②新規アミド誘導体の構造特性と反応性 ③新規芳香族化合物による特異的空間の創出 |
| 医薬品物性学 | 教授 秋澤宏行 | ①がんの in vivo イメージングに関する研究 ②炎症のイメージングに関する研究 |
| | 教授 唐澤 悟 | ①次世代造影剤の開発 ②特異な励起状態を持つ分子の解析 ③外部刺激応答性分子を使ったがん診断 |
| 環境健康科学 | 教授 石井 功 | ①生理活性低分子(アミノ酸・ガス・脂質・薬品・毒物)の作用機序 ②代謝(糖・アミノ酸・脂質)連関と代謝リモデリング ③上記の連関する動物行動 |
| 分子細胞生物学 | 教授 伊東 進 | ① TGF- β シグナル伝達制御機構 ② YAP シグナル伝達制御機構 ③ TGF- β シグナルによる腸上皮細胞分化・消化管がん制御 ④ BMP シグナルによる軟骨・骨細胞分化 |
| | 教授 金本大成 | ①細菌の薬剤耐性機構に関する研究 ②細菌プロテオームの定量解析 ③口腔常在菌の病原性に関する研究 ④ウイルスによる免疫回避の分子メカニズム |
| 漢方・医薬資源学 | 教授 高野昭人 | ①薬用植物の特性評価と栽培方法の確立に関する研究 ②薬用植物の分類に関する研究 |
| | 教授 久保田高明 | ①生物資源(植物、海洋生物、微生物など)に含まれる新規生物活性物質の探索 ②天然有機化合物の生合成機構の解明と利用 |
| 病態解析・薬物治療学 | 教授 水谷顕洋 | ①脂肪細胞分化に於ける pH 感受性と細胞内 Ca^{2+} 動態との関係について ②白血病細胞の増殖に関わる mRNA 結合蛋白質の機能解明 ③細胞質 mRNA 結合蛋白質の神経可塑性における役割解明 ④シナプス後部における蛋白質修飾反応について |
| | 教授 宇都宮 郁 | ①神経系の K^+ チャンネルに関する研究 ②運動ニューロン病の成因および治療に関する研究 |
| 薬理・医薬品安全性学 | 教授 渡邊泰男 | ①酸化ストレス時のカルシウムシグナル分子のレドックス応答性 ②炎症病態におけるイオウ代謝酵素発現の役割 ③活性イオウ分子発現誘導による老化制御薬の開発 ④ガス状分子の新しい情報伝達系 |

| 分野 | 研究指導教員 | 研究テーマ |
|---------------|----------|---|
| 薬剤・薬物動態学 | 教授 山崎浩史 | ①薬物酸化酵素活性の個人差に関する薬理遺伝学的研究 ②変異型酸素添加酵素の構造と機能に関する研究 ③創薬を指向した新規ヒト型モデル動物の開発と評価 ④環境化学物質の生体内運命、代謝的活性化・不活性化と生体に及ぼす影響に関する研究 |
| | 教授 宇都口直樹 | ①薬物送達システムとしての遺伝子導入方法の研究 ②ターゲティング療法の開発 ③がんワクチン製剤の開発 |
| 医薬情報解析・医薬品評価学 | 教授 瀧本知之 | ①医薬品の適正使用に関する研究 ②効果的な患者情報収集に関する研究 ③医薬品の適応外使用に関する研究 |
| | 教授 渡部一宏 | ①臨床製剤に関する基礎及び臨床研究の実践 ②患者アウトカム評価に関する研究 |
| | 教授 宮崎生子 | ①妊婦・小児等の薬物治療にかかわるデータ分析・評価 ②抗体医薬品等による重篤副作用の発現状況の解析および、発生低減の手法についての研究 ③医薬品品質リスクマネジメントにおける国際調和についての解析 |